

海外編

## 知る・楽しむ ファンタジーの世界



## ファンタジーとは

「fantasy」を『研究社新英和大辞典』第6版（研究社 2002）【R833/ケ】で引くと、「とりとめもない想像；夢のような空想、気まぐれ、酔狂；奇抜な考え、幻想（的）文学作品；（時に）空想科学小説、白日夢」等が挙げられています。

古くは神話・伝説、妖精物語から始まるファンタジーの世界ですが、その定義は時代によって変化してきました。おとぎ話としてとらえられた時代から、近代になると、『ゲド戦記』や『指輪物語』のように、現実世界とは全く別の創りこんだ世界で物語が展開する、大人も楽しめるハイ・ファンタジーが成立しました。ハリー・ポッターシリーズの世界的な大ブーム以降は、ファンタジーは現実の隣にあるもう一つの世界として、垣根を低くし、近年はネオ・ファンタジーという考え方も生まれています。海外ファンタジーの世界を、知る・楽しむための本をご案内します。

## ファンタジー入門

「ファンタジーとは夢と空想をちりばめた、わくわくするような物語だ」

## ●『ファンタジー文学案内』 海野弘／著（ポプラ社 2008）【902.3/ウ】

著者は、ファンタジーは「この世界は私の求めている世界とはちがう、もっと別な世界が見たい、と思う人に必要なのだ。」といい、若く、無名で、貧しい人にこそ読んでほしいという。

ファンタジーとはなにか、ファンタジーの歴史など、ファンタジー文学の豊かな世界、想像力の旅のすばらしさを紹介する入門書。『指輪物語』『ナルニア国物語』『ゲド戦記』の三作を紹介するほか、ファンタジー小辞典も収録されている。

「科学にも超自然にも属さない驚異の物語」


## ●『ファンタジーの歴史』 リン・カーター／著、中村融／訳（東京創元社 2004）【902.3/カ】

1960年代からファンタジーの啓蒙に尽力し、ファンタジー中興の祖のひとりといわれるアメリカの作家・編集者、リン・カーターによるファンタジーの通史であり、ファンタジーの巨匠たちの作品の案内書。原書は1973年のため、現代ファンタジーとして紹介されているのは『最後のユニコーン』『赤い月と黒の山』『影との戦い』までだが、読み物としても楽しめ、読み継がれている名著。

クイズA: J・R・R・トールキンが創造した土地の名前は？（答えは本紙4ページ）

- ① ナルニア ② 中つ国 ③ アースシー





## 映像化するファンタジー

「ファンタジーは〈心の願望〉の物語である。」

### ●『図説ファンタジー百科事典』

デイヴィッド・プリングル／編，井辻朱美／日本語版監修，[岸野あき恵／ほか訳]（東洋書林 2002）  
【R903.6/ズ】

妖精物語から剣と魔法の物語、ヒロイック・ファンタジーまで、歴史の古い順に解説する「ファンタジーの類型」や、ファンタジー作家の人名録、登場人物録、描かれた舞台、用語集のほか、映画、テレビ、ゲームのファンタジーまで多角的にアプローチした事典。邦訳文献目録付き。

## 「ファンタジーの現実化と、現実のファンタジー化」

### ●『ファンタジーを読む』 井辻朱美／著（青土社 2019）【902.3/イ】

「ハリー・ポッター」シリーズの登場と破格の売れ行きや、名作ファンタジーの実写映像化は、ファンタジー文学に大きな転機をもたらした。ミヒャエル・エンデ、ル＝グウィン、J・K・ローリングを読み解きつつ、現実と虚構の境界が消失したネオ・ファンタジーの流れを俯瞰する。ファンタジー文学の現在。



## ファンタジーの舞台を楽しむ

### ●『完訳世界文学にみる架空地名大事典』

アルベルト・マンゲル，シアンニ・グアダルーピ／著，高橋康也／[ほか]監訳（講談社 2002）  
【R903.3/マ】

紀元前 9560 年頃に大西洋の海中に没した巨大なアトランティス。（プラトン『クリティアス』ほか p.43-45）。広大な方形の国で、マンチキン国、ウィンキー国、カドリング国、ギリキン国からなるオズ（ボーム『オズの魔法使い』ほか p.152-157）など、文学に登場する「どこにもない場所」を多彩に紹介する究極の旅行案内書。図版や地図も収録されている。

### ●『ファンタジーの世界地図 ムーミン谷からナルニア国、ハリー・ポッターまで』

ヒュー・ルイス＝ジョーンズ／編，栗原紀子／訳（東京堂出版 2019）【コ 902/フ】

『ホビットの冒険』初版の見返しに描かれた荒れ地の国の地図（p.72-73）、ボッティチェリがダンテの『神曲』を読んで描いた「地獄の九圏」（p.45）から、映画「ハリーポッターとアズカバンの囚人」の小道具となった忍びの地図（p.155-157）など、ビジュアルに地図から楽しむファンタジーの世界。



- 『世界伝説歴史地図 ヴィジュアル版』 ジュディス・A.マクラウド／著，大槻敦子／訳  
(原書房 2013)【388/マ】

伝説の地キャメロット (p.94-97)、黄金郷エルドラド (p.246-251)、失われた大陸アトランティス (p.282-302)。冒険者たちの飽くなき挑戦と想像力が生み出した古地図の数々は、「常軌を逸した不正確さ、みごとにまでの誤解、そして意図的な曲解であふれかえっていた。」(序章)  
世界各地の伝説と創造の地を古地図からみる、冒険と伝説の世界史。



## 神話・伝説を生きる者たち

- 『図説世界の神話伝説怪物百科』 テリー・ブレヴァートン／著，日暮雅通／訳 (原書房 2019)【388/ブ】

第1章「謎の人物、奇妙な人物」では、歴史を通じて私たちの物の見方に影響を与えた、一風変わった人々が取り上げられている。ワラキア公ヴラド3世(異名ドラキュラ)(p.15-17)から、あなたの生き霊ドッペルゲンガー(p.44-45)まで。第4章「空飛ぶ怪物と伝説」では有翼の悪魔ゴルゴーン(p.173-174)から空飛ぶ絨毯(p.181-182)、謎の飛行船(p.198-199)までと、とにかく守備範囲の広い、エンターテインメントとして世界の不思議を紹介する一冊。

- 『幻獣辞典』 新版 ホルヘ・ルイス・ボルヘス／著，柳瀬尚紀／訳 (晶文社 2013)【M964/ボ】

アルゼンチンの詩人であり、小説家であり、批評家であるボルヘスが、あらゆる文献をつぶさに探り、古今東西の空想上の生物について集成した、奇怪で魅惑的な1冊。悲しみをたたえた金切声の「バンシー」(p.34)、『不思議の国のアリス』でおなじみの「チェシャ猫」(p.56-58)、中国に伝わる悪徳の化身「饕餮(とうてつ)」(p.230-231)など、気の向くままにどの頁を開いても不思議な出会いがある。スズキコージの独特な絵が、奇妙な世界に彩を添えている。



- 『<図説>人魚の文化史 神話・科学・マーメイド伝説』

ヴォーン・スクリプナー／著，川副智子，脇岡千泰／訳 (原書房 2021)【388/ス】

人々が古代から現在に至るまで探し求めずにはいられない人魚。コーヒーチェーンのロゴマークの人魚から、紀元前8世紀の彫刻に描かれた人魚まで、人類の文化に常に存在した人魚の存在を、神話・伝説のみならず、科学や資本主義の視点から、多彩な図版と共に検証する。

- 『ドラゴン神話図鑑』 ジョナサン・エヴァンズ／著，浜名那奈／訳 (柘風舎 2009)【388/エ】

世界中の神話の中で、ドラゴンは様々な姿で描写され、多くの異なる意味合いをもたされた。人々に恐怖や畏敬の念を抱かせるその存在は、果たして敵なのか、味方なのか。ドラゴン神話の起源に迫り、ドラゴンの神話のもたらす意味を考える。絵や工芸に残された多くのドラゴンの図版掲載。



クイズB: 冥府の番犬、頭が三つ、吠え声は三重奏の生き物の名前は何?

① セイレーン ② ヒッポグリュフス ③ ケルベロス (答えは本紙4ページ)

## 文学賞受賞作品を調べる

- 『海外文学賞事典』（日外アソシエーツ 2016）【R902.0/カ】

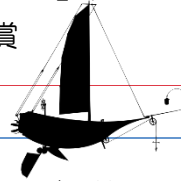


「文学・小説一般」「ミステリー」「SF・ファンタジー」「児童文学」のジャンル別に、海外で主催されている文学賞 55 賞の概要と 2016 年 2 月までの受賞情報を収録。邦訳情報も記載あり。

### 「SF・ファンタジー」部門から

- ⇒ 「英国幻想文学賞」英国ファンタジー協会により開催されているファンタジージャンルの文学賞。  
『剣の騎士』（マイクル・ムアコック）、『アナンシの血脈』（ニール・ゲイマン）、『図書室の魔法』（ジョー・ウォルトン）、『叛逆航路』（アン・レッキー）等受賞
- ⇒ 「世界幻想文学大賞」毎年のワールド・ファンタジー・コンベンションで発表される幻想文学の賞。  
『妖女サイベルの呼び声』（パトリシア・A・マキリップ）、『鳥姫伝』（バリー・ヒューガート）、『魔術探偵スラクサス』（マーティン・スコット）、『アースシーの風』（ル＝グウィン）、『都市と都市』（チャイナ・ミエヴィル）、『図書館島』（ソフィア・サマター）等受賞

## ファンタジー創作道場



- 『ファンタジーを書く』 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／著，市田泉，田中薫子，野口絵美／訳（徳間書店 2015）【930.2/ジ】  
映画「ハウルの動く城」（『魔法使いハウルと火の悪魔』『アブダラと空飛ぶ絨毯』）の原作者として知られる英国の「ファンタジーの女王」が、自身の半生を回想し、作家の卵へのアドバイスとして創作の技法を語る。
- 『ファンタジーと言葉』 アーシュラ・K.ル＝グウィン／[著]，青木由紀子／訳（岩波書店 2006）【M943/ル】  
『ゲド戦記』の作者ル＝グウィンのエッセイ集。自らの体験や読書について語るほか、「いま考えていること」「作家として書くこと」について軽やかに語る。
- 『ファンタジー世界の街の地図を描く』 JARED BLANDO／著，B スプラウト／訳（ボーンデジタル 2019）【726.5/ブ】  
ゲーム業界で活躍するイラストレーターが、ファンタジー世界の地図を描く方法を説明する。
- 『幻獣デザインのための動物解剖学』 テリル・ウィットラッチ／著，大久保ゆう／訳（マール社 2015）【726.5/ウ】  
映画「スター・ウォーズ」「ジュマンジ」「メン・イン・ブラック」などで様々な幻獣を生み出した著者による創作の秘密。イラストレーションや骨格などのドローイングも多数掲載。

### ★クイズの答え★

A ②（『図説ファンタジー百科事典』p.502）

B ③（『幻獣辞典』p.54）



図書館では皆様の調べ物や課題解決のために様々なお手伝いをしています。調べ方がわからない時は遠慮なくお問い合わせください。また、図書館のホームページからもお問い合わせいただけます。

お問い合わせ：市川市中央図書館 047-320-3346

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/reference/entry.do>